6.A ロータリー財団のプログラム

財団のプログラムを通じて、きれいな水の提供、環境保護、次世代を教育するための奨学金など、ロータリアンは世界中でロータリーの人道的使命を達成し、財団が目指す「世界でよいことをしよう」を実践しています。

教育的プログラム

ロータリーの教育的プログラムは、異なる国や文化圏の人々を結びつけ、国際理解を推進しています。以下のプログラムを通じて、それぞれ異なった教育的機会を提供することができます。

- 国際親善奨学金
- 研究グループ交換
- ロータリー平和フェローシップ

国際親善奨学金

国際親善奨学金の目的は、異なる国や地域の人々の間に理解と友好関係を推進することです。大学学部生や大学院生を対象としており、期間は1学年度です。留学中、奨学生は親善大使としての役割を果たし、留学先のロータリー・クラブやその他の団体向けに母国についてのスピーチをします。帰国後は、ロータリアンやその他の人々に経験したことを伝え、留学国についての認識向上に努めます。

奨学金小委員会は、プログラム参加の奨励、奨学生の候補者探し、地区内大学への連絡、募集に関する広報などを行います。また、地区のウェブサイトに奨学金の情報を掲載してください。

小委員会は、資格と外国語能力を確認するために奨学金候補者と面接し、財団が指定する締切日までに候補者を選びます。「ロータリアンのための奨学金の手引き」は、地区が適切な候補者を選ぶ際の参考となる情報を収めています。さらに、奨学金プログラムにおける変更についての重要な最新情報が含まれています。

奨学金小委員会が候補者を選んだ後、地区ガバナー、地区ロータリー財団委員長、奨学金小委員会委員長が、申請書上で地区の候補者を確認し、署名します。

小委員会は、選考結果をすべての候補者とその派遣クラブに通知する必要があります。正候補者には、現段階では地区推薦を受けたに過ぎず、奨学金が授与されたわけではないことを伝えてください。補欠候補者には、財団が正候補者を不適格とみなすか、あるいは正候補者が辞退した場合に限り、候補者と見なされる旨を伝えてください。財団では、10月1日の締切日までに受領した申請書に対し、12月15日までに奨学生に教育機関の指定を通知します。

お忘れなく

奨学金の候補者には、「国際親善奨学金パンフレット」(132)を渡すとよいでしょう。

研究グループ交換

研究グループ交換（GSE）は、専門職務経験の浅い25～40歳の人々に、文化と職業に関する交流の機会を与えるものです。チームは、4週間から6週間を外国で過ごし、自分の職業と同じ分野の活動を見学したり、受入地区で異文化経験に浸り、ホストファミリーや地域の人々と親睦を深め、クラブ例会や多様なロータリー活動でロータリアンと共に活動します。

地区のGSE小委員会は、以下のことを行います。

- 派遣チームおよび来訪チームが、クラブや地区から十分な支援を得られるようにする。
- オリエンテーションを通じてチームの出発前準備を整える。
- 来訪チームのための受入側日程表を準備する。
- 地区の締切日を決定する。
- クラブ委員会と財団職員のあいだの連絡役を担う。
- 交換後のフォローアップ活動を行い、最終報告書が財団に必ず提出されるようにする。

注：チームリーダーとチームメンバーの選考は、別個に設けられたGSE選考委員会が行います。この委員会には、選考委員長となる地区GSE委員長のほか、直前ガバナー、ガバナー・エレクト、職権上の委員としてのガバナー、ならびに委員を務める3名のロータリアン（任期をずらして任命、任期は地区が決定）を含めます。また、投票権を持たないメンバーとして委員会に顧問を含めることもできます。

お忘れなく

多地区合同チームを編成することも可能です。

GSEには以下のようにさまざまな種類があります。

- **特定の関心事項に焦点を当てた交換：**医療や犯罪防止など、特定の職種や関心事に焦点を置いてメンバーを構成します。
- **隣国間の交換：**国境を挟んだ2カ国、または近接している2カ国間で交換を実施します。
- **ロータリーが存在しない国のチームが参加：**地区は、例外措置として財団から承認された場合には、DDF（地区財団活動資金）を使用し、ロータリーが存在しない国からのチームがGSEに参加することができます。
- **人道的プロジェクトに関連する交換：**相手地区で実施できる人道的プロジェクトを検討するため、専門知識を備えたメンバーから成るチームを構成します。例えば、医師や看護士からなるチームが病院や医療施設を訪れ、帰国後、疾病治療と予防に関わる補助金プロジェクトの立案を援助することができます。

ロータリー平和フェローシップ

ロータリー平和センター・プログラムでは、国際関係、平和研究、紛争解決などの分野における修士号、あるいは平和と紛争解決の分野における専門能力開発修了証の取得を目指す人に、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供しています。

候補者の推薦

ロータリー平和フェローは、毎年、世界競争制に基づいて最高100名が選ばれます。資格ある候補者を募集し、7月1日までに推薦書を財団に提出するよう、すべての地区に奨励されています（紛争地域を含む地区からは、地元や海外の紛争やその後の情勢に取り組むことのできる候補者を選出するよう呼びかけられています）。

ロータリー平和フェローシップ小委員会は、候補者を見つける方策を考え、3月1日頃から、資格ある候補者の募集と面接を行います。財団管理委員会は、ロータリー平和フェローシップの申請書を審査する

地区委員会に、現ガバナー、直前ガバナー、ガバナー・エレクト、地区ロータリー財団委員長、ロータリー平和フェローシップ小委員会委員長、ならびに平和と紛争解決、教育、市民活動や事業でのリーダーシップといった分野を専門とするロータリアンあるいはロータリアン以外の3名を含むよう推奨しています。

平和フェローの資金

ロータリー平和フェローへの資金は、世界各地から寄せられます。地区は、DDF（地区財団活動資金）の寄贈を通じてプログラムを支援できます。ほかの奨学金とは異なり、寄贈されたDDFが地区推薦のフェローに授与されるわけではありません。この方法は、世界的審査に基づいて、優秀な候補者をバランスよく選出することを目的としています。

1年間に25,000ドル、あるいは2年間にわたり50,000ドル分のDDFを寄贈することを誓約した地区は、「平和推進地区」として特別に認定されます。

継続的に資金を確保し、恒久的に資金をプログラムに提供していくために、ロータリー財団は、期間限定寄付の寄付基金を募り、2015年までに9,500万ドルを集めることを目標としています。この「ロータリー平和センター大口寄付推進計画」についての詳細は、第7章の「寄付増進」をご覧いただくか、ウェブサイト（www.rotary.org）より、「寄付」＞「支援方法」＞「国際問題研究のためのロータリー・センターへの寄付」の順にクリックしてご覧ください。

お忘れなく

詳細は、「ロータリー平和センター：ロータリアンのためのプログラムの手引き」（085）をご覧ください。

人道的補助金

人道的補助金は、人道的プロジェクトを実施するクラブと地区に提供され、奉仕のニーズや資金の調達方法によって、以下の2種類が利用できます。

- 地区補助金
- マッチング・グラント

ロータリー財団は、人道的補助金プログラムの指針として以下の基準を設けました。

- 地元のロータリアンが特定した地域の人道的ニーズに取り組み、持続的な成果を目的としていること
- 財団補助金による活動はすべて、ロータリアンが積極的に参加すること
- ロータリーのネットワークの充実につながるものであること
- すべての補助金において、「四つのテスト」と責任ある会計監督に則った資金管理が行われることを明確に示すこと。「資金管理」とは、綿密なプロジェクト計画、不備のない正確な申請書とそのほかの必要書類の提出、すべての財務取引における透明性の確保、能率的で適切な報告書の提出を指しています。

6つの重点分野のいずれかに重点を置き、測定可能で持続的な成果が期待できる人道的プロジェクトを支援して、未来の夢計画の全面導入に備えることが奨励されています。重点分野は以下の6つです。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

お忘れなく

ロータリーの名称と徽章に関する指針が守られていることを確認してください。詳細は、「2010年手続要覧」の第5章、または「ロータリー章典」の33.020.項をご覧ください。

地区補助金小委員会は、資金が適切に管理されるよう確認します。資金管理に問題があると懸念される場合は、財団に報告してください。補助金管理についての詳細、また「地区の覚書」の要件を実施する上での情報は、「補助金管理の手引き」をご覧ください。

地区補助金

地区補助金は、DDFを使用して、地域に恩恵をもたらす短期の人道的活動を支援するものです。地区は、DDFの最高20%までを申請でき、この補助金を地元や海外のプロジェクトの支援に充てます。

地区補助金では、1件の大規模なプロジェクトを支援したり、クラブによる小規模な複数の奉仕活動を支援したりできますが、「授与と受諾の条件」を順守しなければなりません。補助金小委員会は以下の項目が行われるよう確認します。

» 地域のニーズ調査

» 資金の支出を監督する、少なくとも3名のロータリアンから成る委員会の設置

» 報告書の提出(期限厳守)

また、補助金小委員会は、以下を行います。

» 地区補助金についてロータリアンに情報を提供する。

» クラブからの申請を受理し、活動が財団と地区の指針に沿ったものであるかどうかを確認する。

» 指針を満たしているクラブからの申請を、地区ロータリー財団委員会による審査に回す。

» ガバナーや地区ロータリー財団委員長と共に、資金の支払いを調整する。

» 最終報告書とプロジェクトの領収書を集める。

» 財団委員長と協力して報告内容を確認し、財団に提出する。

申請プロセス

地区は、資金が支給される前年度に、申請書を提出します(申請は年に1度)。財団では、申請書を7月1日から3月31日まで受け付けています。

マッチング・グラント

マッチング・グラントは、海外のクラブや地区と協力し、国際的な人道的奉仕プロジェクトを援助するもので、5,000～25,000ドルのマッチング・グラントと、25,001～200,000ドルの競争制マッチング・グラントの2種類に分けられます。

補助金小委員会は追加の責務として、以下を行います。

» すべての補助金申請内容を確認する。

» 地区提唱のマッチング・グラントを承認する。

» 地区内の補助金活動に関する記録を保管する。

» 会計に関して最高レベルの資金管理と透明性を奨励する。

» 財団への申請書提出前に、申請内容に不備がないことを確認する。

お忘れなく

詳細は、「マッチング・グラントの手引き」（144）をご覧ください。

申請プロセス

援助国の提唱クラブや地区は、何件でもマッチング・グラントを申請できます。ただし、実施国内での未完了マッチング・グラントが5件を超えることはできません。申請書は、毎年7月1日〜3月31日に財団に提出され、8月1日〜5月15日に承認されます。

8月1日までに申請された競争制マッチング・グラント（申請額25,001ドル以上）は、10月の管理委員会で審査され、その後12月15日までに申請されたものは4月の会合で審査されます。管理委員会の会合日程は変更される場合がありますので、申請締切日についての詳細は財団に直接お問い合わせください。

DDFオプション（シェア）

DDF（地区財団活動資金）のオプションは、プログラムの実施年度に先立つ2年前の4月のロータリー財団管理委員会会合において決定されます。次ページのDDFオプションの表をご覧ください。

オプション選択の際には、以下の点に留意することが大切です。

» 教育プログラム分野へのDDFは、奨学生が留学、またはGSEチームが渡航するプログラム年度に使用されます。

» シェアを通じて、他地区にGSEの費用を寄贈することもできます。この場合、寄贈した地区と受領した地区の間で交換が行われることになります（ただし、違う地区との交換を別途手配した場合は除きます）。

» 地区は、「折半による寄贈」を通じて、相手地区のGSEチームの費用の半分を負担することができます。地区は、2,500米ドル（隣国GSEの場合は1,250米ドル）、追加の交換を行う場合は11,000米ドル（隣国GSEは6,000米ドル）を相手地区に寄贈できます。

詳細は、「4　財団の資金」をご参照ください。

プログラムのオプション	費用(米ドル)	資金源	留意点
国際親善奨学金	$27,000	DDF(地区財団活動資金)	奨学金を受ける候補者の数に制限はありません。
国際財団活動資金(WF)を利用したGSE	$5,000	DDF	財団の要件をすべて満たしている地区は、費用の大部分を補うDDFと、追加分を補うWFを利用して、2012-13年度に1チームを派遣できます。
WFを利用した隣国GSE	$2,500	DDF	財団の要件をすべて満たしている地区は、費用の大部分を補うDDFと、追加分を補うWFを利用して、2012-13年度に1チームを派遣できます。
追加のGSE	$11,000	DDF	地区は、追加のチームを申請できますが、同じ年度に2組を超えるGSEチームを派遣することはできません。
追加の隣国GSE	$6,000	DDF	地区は、追加のチームを申請できますが、同じ年度に2組を超えるGSEチームを派遣することはできません。
GSEチームの追加メンバー	$2,000	DDF	1チームにつき、ロータリアン以外の人を2名まで追加できます。受入地区は、追加のチームメンバーを承認する必要があります。
隣国GSEチームの追加メンバー	$1,000	DDF	1チームにつき、ロータリアン以外の人を2名まで追加できます。受入地区は、追加のチームメンバーを承認する必要があります。
GSEオリエンテーション	最高$1,000	DDF	地区は、チームメンバーのためのオリエンテーションの費用に、このDDFを充てることができます(1,000ドルまで)。
GSE語学研修助成金	額の指定なし	DDF	地区は、チームメンバーのための語学研修の費用に、このDDFを充てることができます(これは、要請に応じて財団から支給される1,000ドルの語学研修補助金に加えて利用可能なものです)。
ロータリー平和フェローシップ	$60,000	DDF、WF、寄付基金	ロータリー平和センター大口寄付推進計画では、2015年までにすべてのロータリー平和フェローを支援できる基金を確保することを目標としています。財団は、寄付基金によってプログラムを支援できるようになるまで、DDFの寄贈を受け付けます。
地区補助金	DDFの最高20%まで	DDF	25,000ドルを超える補助金は、使用計画に従って分割で支払われます。
マッチング・グラント	$5,000 ～$25,000	DDF、WF	財団は、DDFに対して1:1の割合、またクラブや地区からの現金寄付に対して0.5:1の割合で補助金を支給します。
競争制マッチング・グラント	$25,001 ～$200,000	DDF、WF	財団は、DDFに対して1:1の割合、またクラブや地区からの現金寄付に対して0.5:1の割合で補助金を支給します。

ロータリー財団学友

1947年以来、11万人以上がロータリー財団プログラムの奨学金や補助金を受領してきました。これらの財団学友は、財団の力強い賛同者または寄付者となる可能性があるため、引き続き関係を維持していくことが大変重要となります。学友との関係を維持することには、以下のような利点があります。

- 異なる国のロータリー地区同士が協同で奉仕プロジェクトを実施し、親睦を図るための懸け橋となる。
- ロータリー財団プログラムがいかに自分の人生を変えたかについて、クラブ会員やメディアに伝えることができる。
- ほかの学生や友人にプログラムの機会について積極的に伝えることができる。
- 選考、オリエンテーション、受け入れについて助言を提供できる。
- 学友会への参加、または創設を通じて地区の活動を支援できる。
- 将来的に会員や寄付者となることができる。

地区財団学友会小委員会は、学友の連絡先の変更や新しい連絡先を財団の学友担当課にEメール(alumni@rotary.org)でご連絡ください。

未来の夢計画への移行

2012-13年度、試験地区以外の地区は、新しい補助金モデルの使用に向けて準備する必要があります。移行への準備に際し、実行すべきこと(または実行が奨励されていること)は以下の通りです。

- グローバル補助金の利点を説明する。この補助金によって、測定可能で持続的な効果が期待できる大規模なプロジェクトを実施でき、世界にさらに大きな影響を与えることができます。
- クラブがグローバル補助金の受領資格を満たせるよう、2012年7月より補助金管理についての研修を実施する。
- 未来の夢の補助金を受領できるよう、地区は2013年の1月から7月にかけて、オンラインで地区の資格認定手続きを行う。
- 補助金の完了後、できるだけ早く報告書を提出する。未完了の補助金は、地区につき10件を超えることはできない(人道的補助金プログラムまたはその他のロータリー財団補助金を含む)。
- 代表提唱者は、新地区補助金またはグローバル補助金の承認を受ける前に、それまでに実施した人道的補助金の報告書をすべて提出しておかなければならない。
- 未完了の地区補助金がある場合、その補助金の金額の少なくとも半分について不備のない報告が提出されていれば、新地区補助金の支払いを受けることができる。地区が提唱したマッチング・グラントの報告書もすべて提出しておく必要がある。
- 新地区補助金およびグローバル補助金の申請スケジュールは、従来の財団プログラムとは異なるため、それに合わせた計画を立てる。例えば、地区が2013-14年度の奨学生を、2012年1月に選出する必要はない。

お忘れなく

未来の夢は、現在試験段階にあります。2013年7月1日の全面導入の前に指針が変更される場合も考えられます。

» 国際親善奨学生、GSE、人道的補助金プログラムの成功を祝ったり、プログラム参加者を表彰したりして、引き続きロータリー財団の発展に寄与してもらう。

» DDFの使用に関するクラブへの報告において、地区が採用している方法を見直し、今後、どのような報告方法を用いていくかを検討する。

ロータリー財団プログラムに関するリソース

プログラムに関する最新情報はウェブサイト（www.rotary.org）より、「組織概要」＞「ロータリー財団」＞「ロータリー財団のプログラム」の順にクリックしてご覧ください。